

◆定時制卒業生の方へのお別れ会

『愛宕を惜しむ会』

——定時制お別れ会——

平成15年3月8日（土）午後6時頃～

於。メルパルクTOKYO（芝公園）

定時制卒業生で、現在までに住所が確認されている方、全員に案内状をお送りします。

—想いであらたに是非、参加を！—
 今や、むかし語りとなった苦学の友、万事欠乏の時代を乗り越えた仲間たち、平和と共に仲間を求めてきた若者たち。そして、定時制への評価の変わりようさまざまな時代を肯定し今、偲ばれることはそこには、港定時代が「心の糧」となった大いなる仲間がいるということであろう。

◆賛助金納入状況その他について

1. 会則改定により住所判明者5000名の内、本年の該当者約4500名に振込用紙を送り、757名の会員から送金頂きました。
 これで次回の発行見通しが立ちましたので、今回納入の方のみですが、ご報告を兼ね中間ニュースを送ります。
 送金時には多数の励まし文を寄せられ、役員一同、気持ちを新たにしたところです。
2. 会員から、同窓会名簿発行のご要望が多数ありますが、昨今の情報漏洩問題から当面、全体名簿の予定はありません。ただし、クラス

毎に必要な方は、個別に送付致しますので、下記窓口へご一報ください。

3. 名簿の把握状況は、毎年卒業生分が新規入会にて増え、総会案内手紙の転居先不明戻りで減り、5000名程度で推移しており、約34%の判明率です。クラス会等の住所資料を送付下さるようお願いいたします。

連絡窓口 〒278-0036

千葉県野田市中野台鹿島町23-7

(株)クリーンジャパン内

松岡信之宛て

(会計理事 港16期A卒)

TEL04-7125-6808 FAX04-7125-6851

◎ 返信葉書からの近況の便り

平成16年3月閉校とのこと残念です。新設校に伝統を伝達するのは大変困難なことですが、大切な事です。大変でしょうが頑張ってください。

昭和17年3月卒

 麻布第1本科2期

機械課のA. B組の住所判明者15名そのうち10名にて去る4月21日新宿にてクラス会を実施する。正に昭和は遠くなりつつあるが、みんな元気で21世紀を・・・。 S 21年3月卒業生

 高輪第1本科5期

ご案内有難うございます。同窓会の会名は港工業会とすべきです。東京工業大学の同窓会は旧制蔵前高工時代の蔵前をとり、蔵前工業会と呼称しています。

 港2期 C

27年度自動車科の同期会を約20年振りに……。担任の明石先生を迎えて総勢17名新橋にて開催。大変に楽しい一時でした。

港4期 A

会の運営ご苦労様です。多少なりともお役に立てばと思い賛助金を送ります。多難な活動への対応に感謝いたします。

港6期 E

私が今日までの人生行路を歩んで来られたのも「港工高」のお陰である事を感謝しております。同窓会会員の皆様のご清祥をお祈り申し上げます。

港9期 E

定時制閉校とのこと誠に淋しい感じですが。時代の変化を思うと感慨無量です。

昭和30年3月卒

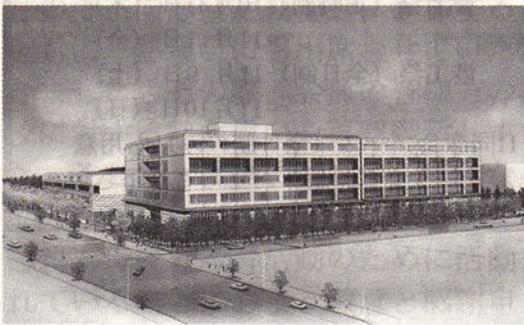
港定7期 M

昭和33年卒 電気通信科 高橋先生のクラスが主になって毎年8月の最後の日曜日に同期会を開催。

港定10期 C

◆ 雑色の地に新しく生まれ変わる新設校について

『大田地区単位制工業高等学校』の開設準備室が始動



平成9年9月、東京都教育委員会『都民に信頼される魅力ある都立高校』の実現を目指して、『都立高校改革推進計画』を策定した。都立高校は、多様な特性等を持つ生徒が学ぶ教育機関となっており、高校教育を取り巻く環境は大きく変化し、そのあり方が問われている。高校進学率が96%を越える状況の中で、都立高校に学ぶ生徒の力・適正・関心・進路希望等の多様化が一層進み、一部には学校生活に適応できない生徒も見受けられる状況にある。また、施設、設備に関しても、学習環境や維持管理面での課題を抱えている学校が少なくない。さらに、少子化の進行により、長期的で大幅な生徒の減少とこれに伴う学校の小規模が進行しているため、都立高校の規模及び配置の適正化が大きな課題となっていた。

都立工業高校は、現在、必ずしも自己の進路希望に沿って入学してくる生徒ばかりではない現実がある。今後は一層、国際化、情報化、科学技術の進展、産業構造の変化に対応して教育を展開して、保護者からも信頼され、生徒から選ばれる学校づくりが必要となっている。一人ひとりの生徒の自己実現に寄与していく特色ある学校として『大田地区単位制工業高等学校』は、多様な科目の設置、柔軟で弾力的な履修形態、生徒の主体的な科目選択による学習の推進など特色を持たせ、一人ひとりの生徒の個性や能力を伸ばし、様々な進路希望や学習希望に応える学校として期待されている。加えて、生徒が「実習」や「課題研究」等の授業の一環として、企業等の産業現場で実習を行うことを通して、産業現場の実

港工同窓会

ニュース

臨時号 平成14年10月5日発行

発行責任者 前田武男

ご挨拶

東京都立港工業高等学校長 小山 実



本年4月より和泉勲先生より校長を引き継ぐことになりました。歴史と伝統のある本校のために微力ではありますが最善の努力を尽くす所存であります。よろしくお願い申し上げます。6月の港工同窓会定期総会に参加するとともに、懇親会にも出席させていただきました。その際、会員の皆様方の本校に対する熱き思いを再認識致しました。そして、役員の方々が一丸となって会の運営に努力され、会員に相互の懇親と母校の教育活動のために活動されていることに心より敬意と感謝申し上げます。

本校は都立の高輪工業学校、麻布工業学校、渋谷工業学校の三つの工業学校が統合されて誕生し、今まで多くの卒業生を社会に送り出して参りました。その間、都心部の狭い小学校の跡地の校舎から、隣接地の買収、実習棟の増築などを行い、歴史と伝統を積み重ねてきました。しかし、本年度、定時制課程が閉課程を迎え、来年度、全日制課程も閉校となり、平成16年度より、全定併置の単位制工業高校として大田区の雑色に新しく生まれ変わる予定です。たとへ閉校となりましても、歴代の卒業生の方々が培われてきた本校の歴史と伝統は、きっと新しい学校へ受け継がれるものと確信しております。

現在、定時制課程は、閉課程に向けて記念誌の編集に取りかかっており、全日制課程は、閉校事業に向けて同窓会の方にもご参加いただいて実行委員会を組織しているところです。そこで、閉校事業に当たっては、同窓会員方々の絶大なるご支援とご協力を切に願います。次第です。

践的・応用的技術を身につけ、望ましい勤労観・職業観を培い、生徒の進路希望が達成できる学校としても注目を集めている。

平成14年5月
社団法人 全国工業高等学校長協会
編集 工業教育 5月号より転載

萩原和夫校長の着任挨拶

4月1日付けで、東京都立大田地区単位制工業高等学校（仮称）開設準備室担当校長に着任いたしました。萩原和夫です。どうぞよろしく御願い致します。平成16年4月の開校をめざして、大田区東六郷の地でこれから2年間の建設工事が始まります。学校は京浜急行・雑色（ぞうしき）駅より徒歩5分、第一京浜国道沿いに完成する予定です。学級規模は全日制課程が6学級規模で、定時制課程が3学級規模で始まり、完成年度は、全日制課程が平成18年度に18学級規模、定時制課程が平成19年度に12学級規模となります。

◆平成14年度総会の様子

平成14年度の総会は去る6月9日（土）13時から母校1階食堂にて会員101名の出席を得て開催しました。会長挨拶に続き、名誉会長（小山校長4月新任）から挨拶を戴いた後、議事に入り13年度事業、決算報告14年度役員人事、事業、予算（案）について提案され、同窓会の将来の方向、決算内の名簿費用割高等々の質疑応答後、承認されました。また母校定時制桑原教頭先生から来春3月8日に予定されてい

る定時制の閉校式及びお別れ会について計画説明と協力要請がありました。

閉会后場所を移動し、母校から徒歩8分程の芝パークホテルにて14時30分から懇親会に入りました。前校長の和泉先生から来賓挨拶を戴き、母校全日制の相川教頭先生の音頭で乾杯後、歓談になりました。今年は元横浜芸術短大教授で高輪1本7期卒の中田功氏が出席され母校20周年記念誌の表紙をデザインされた当時の思い出話を伺いました。なお出席者は71名で総会からかなり減りましたが、今回は総会后にクラス会を行う方が多かったためと思われます。

母校での定期総会開催は来年6月が最後となります。母校が閉校になることを知らない卒業生が半数以上おられます。会員名簿の不明者に関する情報収集にご協力を下さるようお願い致します。

お知らせ

2002年度秋の文化祭のご案内

愛宕祭（定時制）10月31日（木）

～11月 1日（金）

港工祭（全日制）11月 9日（土）

～11月10日（日）

□同窓会ブース（全日制のみ）も用意しております、是非お立ち寄り下さい。